

2025年度成果発表会スライド

茶樹被覆栽培の効果と実践

生産者が知っておくべきポイント

(直がけ被覆)

○工藤 健・高橋 淳・吉田真紀・佐野行正
茶業技術研究担当




1

本課題の結論

平織資材の直がけ被覆は葉焼けのデメリットが大きい**ため避けるべき**

(9時に)被覆をはがした後
曇天日は3～6時間後、快晴日は1時間以内に色がもどりはじめる

◆ 今後、直がけ被覆栽培をされる方

2

遮光率と透過率

遮光率 ▶ どれだけ光を通さないか

透過率 ▼ どれだけ光を通したか (被覆内の光強度)

理論値：透過率 + 遮光率 = 100%

※一部の光は資材に吸収され、厳密には100%となりません

注目した理由

網目の割合 (間隙率) が違う

カラミ織 (85%遮光)	カラミ織 (画像処理後)
平織 (85%遮光)	平織 (画像処理後)

3

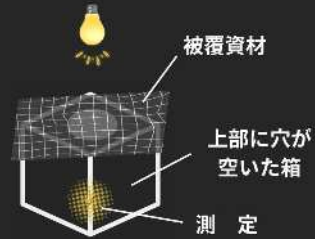
同じ遮光率でも間隙率が違う | なぜ…?

メーカーに問い合わせ

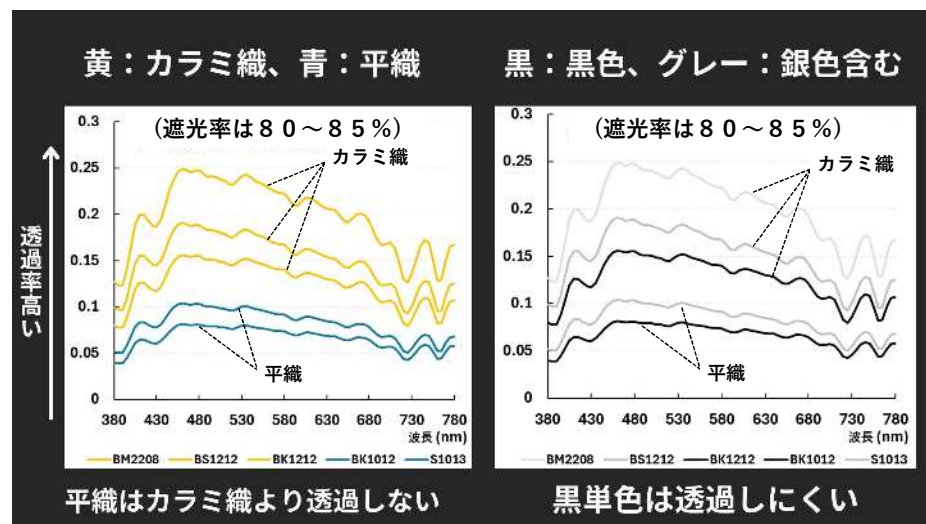
平織とカラミ織で間隙率 (透過率) の数値が異なるのですが遮光率はどのように測定されているのでしょうか?

メーカーの回答

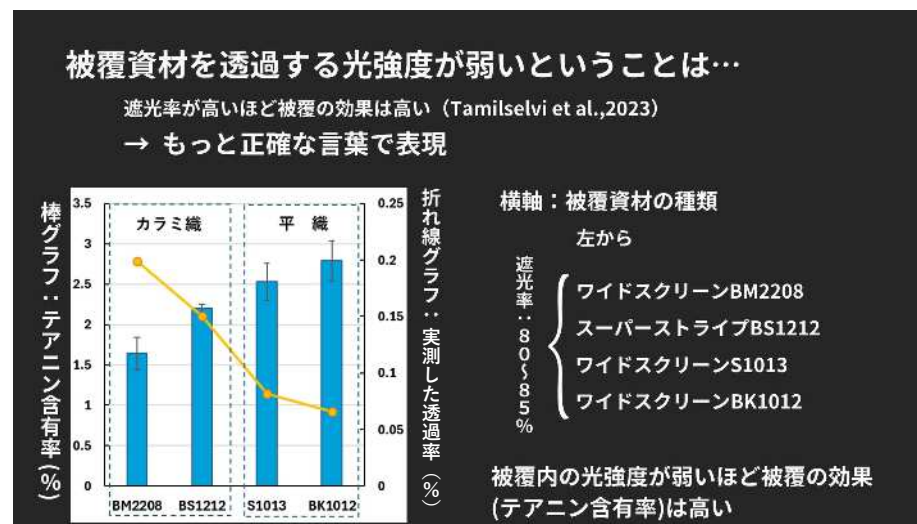
遮光率は自社調べ (規格はない)
右図のように測定している
→ 人工的な条件であり栽培条件とは異なる



4



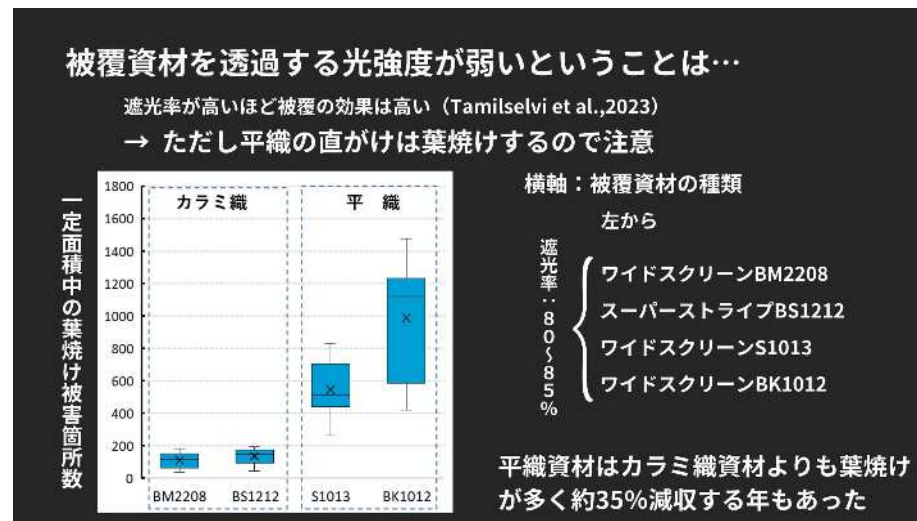
5



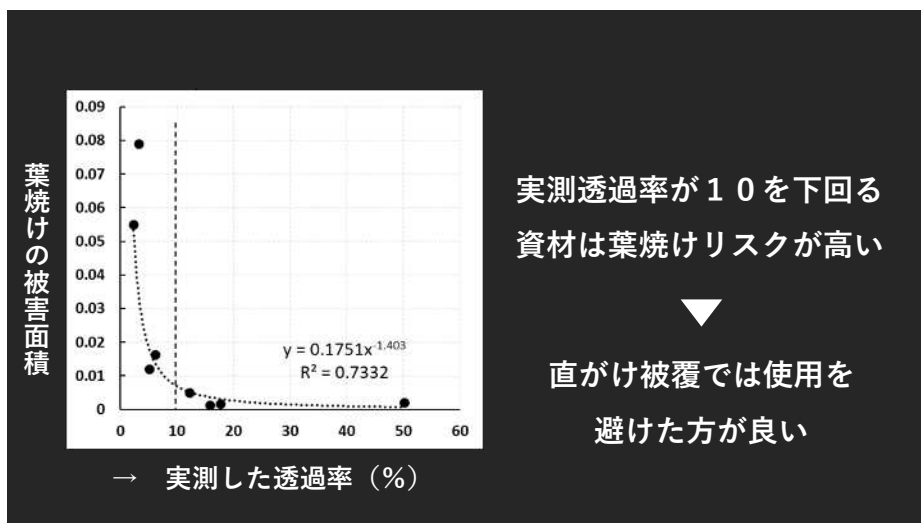
6



7



8



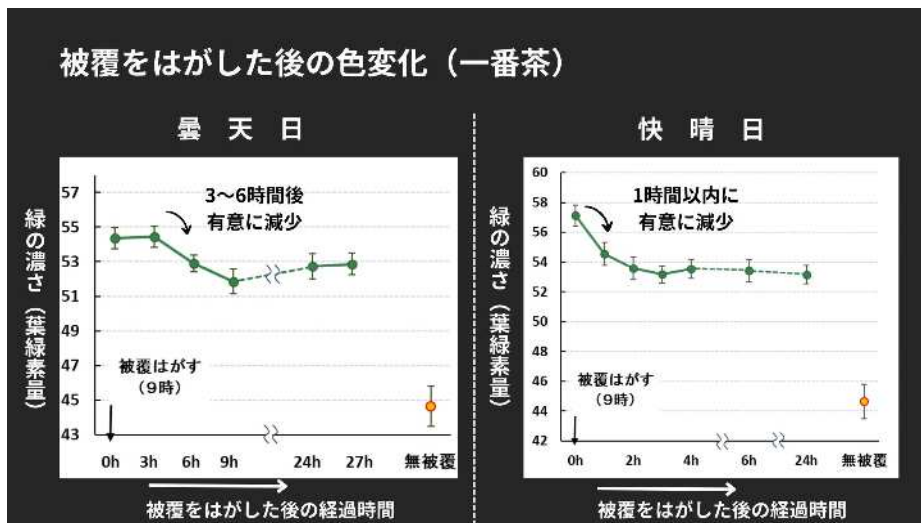
9

被覆をはがした後の色変化

被覆をする面積が増えるほど被覆をはがしてから
摘採するまでに時間が空くことが予想される

▶ 被覆をはがしたらすぐ摘採しないといけない？

10



11

まとめ

①被覆資材の特性調査（直がけ被覆）
理論値 (遮光率 + 透過率 = 100)
・ カラミ織は理論値に近い
・ 平織は理論値より光を透過しにくい

②被覆資材をはがした後の色変化

被覆をはがした後

曇りの日は3~6時間
快晴日は1時間以内
に色がもどり始める

朝9時にはがした場合

12